

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

建物概要				外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス宇土駅店 新	階数	地上 1F		
建設地	宇土市城之浦町字大坪80-2 外	構造	S造		
用途地域	近隣商業地域・準工業地域	平均居住人員	0 人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,380 時間/年		
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年11月12日		
敷地面積	5,341 m ²	作成者			
建築面積	2,393 m ²	確認日	2014年11月12日		
延床面積	2,328 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 0.9

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)

排出率

84%

2 熊本県重点評価結果

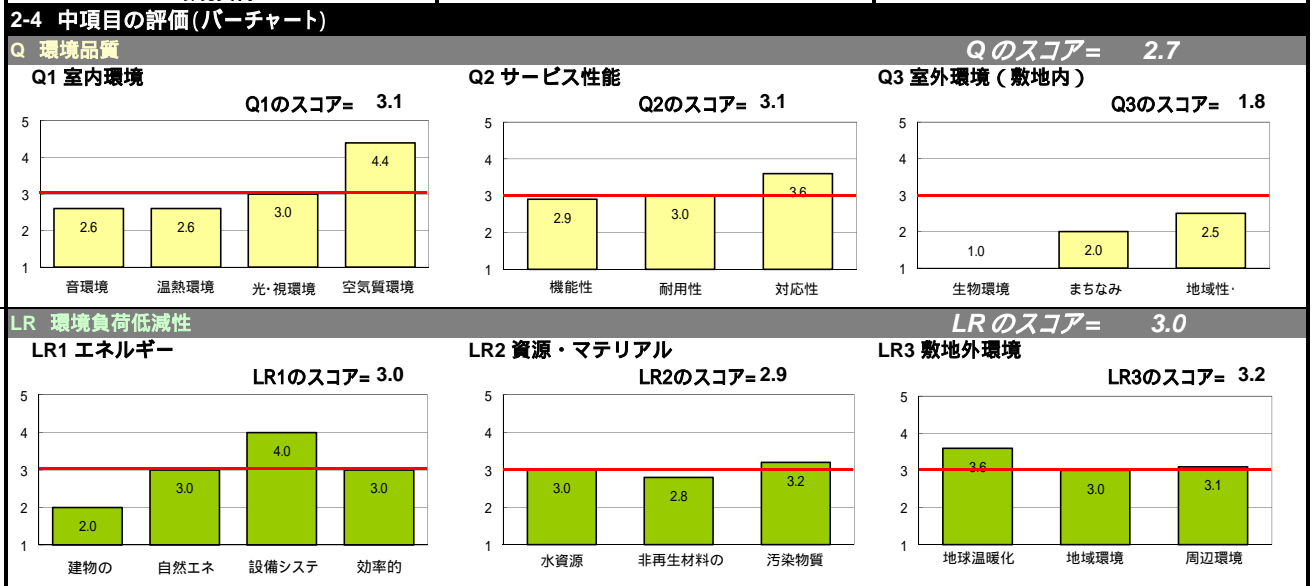
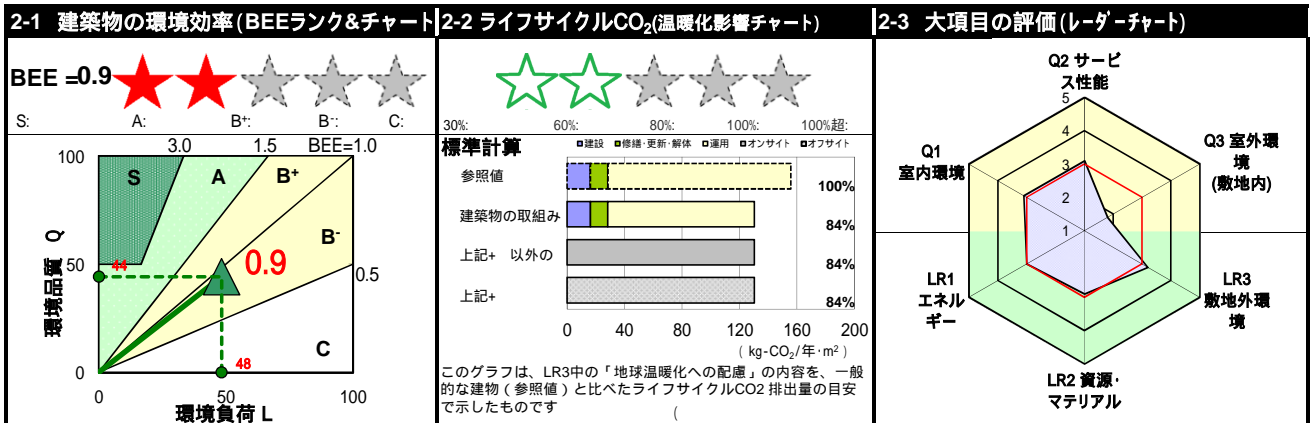
重点事項総合評価		評価点
		74
	評価点	熊本県重点評価基準
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	83.7	判定値(評価点)
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	61.2	ランク表示
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	67.8	100点以上
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.0	80点以上100点未満
		60点以上80点未満
		40点以上60点未満
		40点未満

評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。
 使用評価マニュアル：CASBEE 熊本《新築》2010年改訂版Ver.2 (BPUBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス宇土駅店	階数	地上 1F
建設地	宇土市城之浦町字大坪80-2 外	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・準工業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年11月12日
敷地面積	5,341 m ²	作成者	
建築面積	2,393 m ²	確認日	2014年11月12日
延床面積	2,328 m ²	確認者	



CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 『ライフサイクルCO₂』とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
(仮称)ドラッグコスモス宇土駅店 新築工事

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応)

欄に数値またはコメントを記入

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei\

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		-	-	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-	
4 空気環境		4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F の積極的な採用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	売場・倉庫ともに室内に禁煙スペースなし	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	売場天井高さ:4.5m	5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.0	0.19		
1	空調・換気設備		3.0	0.20		
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3	電気設備		3.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5	通信・情報設備		3.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.6	0.29		3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		
1	階高のゆとり	軒高さ:7.65m	5.0	0.60	3.0	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:210.351+0.00/2328.46 = 0.090	5.0	0.40	3.0	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	
3.3 設備の更新性			3.1	0.38		
1	空調配管の更新性	天井懐が高く、スペースが確保されている	4.0	0.17		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22		
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性						3.0
LR1 エネルギー				0.40		3.0
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30		2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化		高効率空調の採用	4.0	0.30		4.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.0			
		集合住宅の評価	3.0			
4 効率的運用			3.0	0.20		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル				0.30		2.9
1 水資源保護			3.0	0.15		3.0
1.1 節水			3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63		2.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		
1	消火剤	屋内消火栓設備の採用	4.0	0.33		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境				0.30		3.2
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	3.6	0.33		3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器使用なし	5.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		
1	雨水排水負荷低減		-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		
3	交通負荷抑制	自転車置場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	5.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	0.50		
2	振動		3.0	0.50		
3	悪臭		-	-		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		1.0	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	初期照度補正機能の採用	4.0	0.70		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		

CASBEE® 熊本 《新築》 【 配慮事項 】

4 設計上の配慮事項

総合

外部負荷を低減するために開口部は必要最低限とした。
外壁の色、配置、夜間の照明・騒音など、近隣への迷惑・公害等が生じないように配慮した。

Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境に努めた。

Q2 サービス性能

売場の天井高さを高くし、売場の仕切壁を減らすことで、開放的でゆとりのある空間とした。

Q3 室外環境（敷地内）

防犯性に配慮した死角のない環境作りに努めた。

LR1 エネルギー

エネルギー効率の良いLEDなどの機器を採用し、エネルギー使用の効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げが容易に分別できるようにした。

LR3 敷地外環境

夜間照明は周辺地域に配慮した。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)ドラッグコスモス宇土駅店 新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点	73.7	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
温室効果ガス排出量削減の推進				83.7	0.40	33.48
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1 3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
県の地域資源の有効活用と保全				67.8	0.20	13.56
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
循環型社会の実現				72	0.20	14.40
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

重み係数の総和は、「1」であること。

各重点事項(~ の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数